

美の里づくり審査会特別賞

NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター（長野県^{やすおかむら}泰阜村）

教育を通じた都市・農山村共生
～一級僻地泰阜村に子どもの声と緑がよみがえった～

NPO法人グリーンウッド自然体験教育センターが活動する泰阜村は長野県の南部、下伊那郡に位置する村です。

日本の農山村には、その風土によって作り出された独自の「暮らしの文化」があり、学ぶべき暮らしの知恵が豊富に存在しています。暮らしが脈々と営まれて

きた地域の持つ潜在的な教育力を重視し、キャンプの中にそれらの生活の知恵を取り入れながら、また暮らしの中にある様々な活動を通じて、助け合いや自立性について学び合うことを目的としています。泰阜村という地域に根づく様々な生活の知恵を出来る限り体験活動の中に取り入れることで、子供たちや青



子供たちが地元の人々の指導を受けて農作業体験

年の健全な育ちと地域の活性化を目指しています。

1980年代に子供たちが自由にのびのびと育つ試みとして、自然の中での自由なキャンプ活動を始めました。その活動の中から、1年間自然の中で暮らしたい、と希望する子供たちがあられ、泰阜村に拠点を置き、キャンプ事業、山村留学事業を行うようになりました。その後1993年に有志で団体「グリーンウッド遊学センター」を立ち上げ、2001年には現在のNPO法人としました。

活動には「山賊キャンプ」と山村留学「暮らしの学校だいらぼっち」があります。

3泊から20日程度の「山賊キャンプ」では、夏はキャンプ・川遊び・野外料理など、冬は薪を使った五右衛門風呂焚き・地域行事の参加など、自然体験活動を行っています。この活動から泰阜村に魅力を感じた子供たちは、一年間の山村留学「暮らしの学校だいらぼっち」にチャレンジします。これら活動のあらゆる部分に、泰阜村の魅力が生かされています。

また、山村の文化や魅力などを子供たちに伝える地元講師は有給、食材購入は村内もしくは近隣市で購入など、地元で経済利益が還元するよう工夫しています。また自然体験プログラムの中では、農作業や森林作業を組み入れる他、村民が一連の教育活動



田植えの体験

を支えるために放置林を間伐し、放棄農地を復活させて野菜や米を栽培するなど、結果的に地域の環境保全・景観保全にも大きく貢献しています。さらに、一連の活動には山村留学の保護者やキャンプのリーダーなどの都市住民の参加により交流人口を創出すると共に、その中から当法人へ就職するなど定住人口を創出し、人口流出により地域の危機的な状況の回避に対しても貢献しています。教育活動を通じて、農山村が経済的にも環境的にも社会的にもより豊かになる仕組みづくりを展開しています。

今後は活動を通じて泰阜村の資源をさらに掘り起こして活用していきます。現在の森林作業体験に加え、田んぼや畑作業など地域と協力した農作業体験や食育をさらに充実することを目指します。

また現在15人の常勤スタッフを雇用し、農山村での自然環境を活用したコミュニティビジネスとして成立しつつあるが、今後はさらに地域への経済波及効果を高めて、産業として確立させていきたいです。

■講評

山村留学による活発な都市・農村交流を実施し、それにより、スタッフとして地域へ人を呼び定住を勧めることや、農家との交流をするなど、地域社会全体への影響も大きく、その活動の広がりが評価された。



薪を自分たちで取ってくる